

蝦夷層群の地層と構成

紀	世	期	地層名	説明		
		×百万年	()は地層の厚さ			
白亜紀	後期白亜紀	66	石狩/幌内層群	<ul style="list-style-type: none"> 石狩層群は、浅海から河川底で堆積した地層。たくさんの石炭層を含んでいる。 幌内層群は比較的深い海に堆積した地層。 		
		84	函淵層 (<450m)	<ul style="list-style-type: none"> 浅海から陸上の河川底で堆積した地層。 白亜紀と古第三紀の境界は不整合で接する。 化石は比較的少ない。 		
		86	月見砂岩部層	鹿島層 (1670m)	<ul style="list-style-type: none"> 大陸棚の端から大陸棚の外側付近の水深100~200m位ところで堆積した地層。 浅い方で堆積したのが「羽幌川層」で、沖合側の深い方で堆積したのが「鹿島層」とされており両者は時代的に同じ地層。「同時異相」という 両層とも化石を豊富に産出。 	
		90	羽幌川層 (1750-2250m)			
		94	三笠層 (400-750m)	佐久層 (2300-1800m)	<ul style="list-style-type: none"> 「三笠層」は陸上の河川底から海岸近くの水深数10mの浅い海底で堆積した。 「佐久層」は大陸棚の外側で水深200mを超えるような深い海底で堆積した。 上記両層は同じ時代の地層。(同時異相) 両層とも化石が豊富。特に三笠層は蝦夷層群でも最も多種多様な二枚貝化石を産出する。 	
		101	白金泥質砂岩部層			
		前期白亜紀	前期白亜紀	101	日陰ノ沢層 (2600-1900m)	<ul style="list-style-type: none"> 大陸棚の外側で水深200mを超えるような深い海底で堆積した。 化石は比較的少ない。 三笠市に分布する中では最も古い地層である。
				113	丸山層 (<500m)	
				121	奥境ノ沢砂岩・泥岩部層	<ul style="list-style-type: none"> 大陸棚の外側で水深200mから数百mの深い海底で堆積した。 峠山オリストリス部層にはサンゴなどの化石を含んだ大きな石灰岩ブロックが多数含まれる。これはサンゴ礁が海底土砂崩れで深海まで崩れ落ちてきたもの。 峠山オリストリス部層以外化石は非常にまれ。
					シユーパロ川層 (800-2450m)	
				145	礼振峰(れふれつぶ)砂岩部層	<ul style="list-style-type: none"> 水深数百mの深い海底で堆積した地層。 蝦夷層群の最下部層で化石はほとんど見つからない。
		215	惣芦別川層 (<700m)	<ul style="list-style-type: none"> 水深数百mから数千mの深海で堆積・形成された岩石からなる。化石はほぼ見つからない。 		
ジュラ紀			幌加内オフィオライト			